

『動物の保護活動について』 活動報告

私たちは、「人間と同じ命として動物を理解し、愛せる立川市になってほしい」「動物の殺処分を減らしていきたい」という考えから、『動物の保護活動について』をテーマに一年間活動をしてきました。私たちが出来ることを考え、またそれを自分たちでとどめておくのではなく、たくさんの人に発信し、考えてくださる人が増えることで、これからも私たちが住み続ける立川市が、よりよい街となるように、感じたことや思いを活動報告としてまとめました。

◇「動物保護」について調べる

はじめに、動物保護に関する法律や制度、団体についてインターネットで調べたり、身近な人にインタビューをしたりしました。保健所での殺処分の件数などをインターネットで調べていて、東京都では令和元年に、犬・猫・その他の動物が合計308頭も殺処分されていることを知りました。数は減ってきていますが、大切な命が今も失われているということに悲しみを感じました。また、「動物愛護及び管理に関する法律」や「鳥獣保護法」などの法律があり、罰則も定められているなど、日常ではあまり調べることもない分野について詳しく知り、議論することができたのは、とても良い経験でした。

インタビューをしてみて、実際に動物を飼っている人からは「命だから動物を捨てたりしないでほしい」という意見ばかりでした。でも、そういう人でも譲渡会について知っている人がとても少ないことにびっくりしました。譲渡会にもっと興味と親しみを持ち、知ってほしいと思います。また、人間の勝手な理由で捨てられるイヌやネコの事を知り、同じ命として、動物の気持ちをもっと考えてほしいです。



◇東京都動物愛護相談センターの方にインタビュー

コロナ禍のため、自分たちが施設を訪問することはできませんでしたが、実際に保護活動をしている東京都動物愛護相談センターの方のお話を聞くことができました。東京都動物愛護相談センターは、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向けてさまざまな仕事をする東京都の機関で、「動物の保護と管理」「動物の愛護精神と適正飼養の普及啓発」「人と動物との共通感染症対策、および防災対策危機管理」という、仕事の三本柱があることや、動物の捕獲、収容、引き取りの流れなど、動物愛護相談センターの取り組みについて教えていただきました。

センターの方は「センターに来る動物が減るといいな」と思っているそうです。また、飼う時に心がけてほしいことや飼っている人へのお願いを聞きました。飼育は大変なことだとわかって飼い、最後まで面倒を見てほしいということでした。



自分たちで調べたり、講師の方の話を聞いたりする中で、初めて知ることはたくさんありました。他にも、実際に保護活動をしている方から、手紙を通じて意見をいただいたり、活動について教えていただいたりしました。

さまざまなことを知る中で、立川市のみなさんにもこのことを知ってもらいたいと思うようになりました。

◇ポスターと小冊子を制作

その後、あらためて自分たちが実際に何ができるかを話し合い、意見を出し合いました。

「イベントに参加する」「イベントを企画して実施する」「譲渡会に参加する」「譲渡会のお手伝いをする」などの意見も出ましたが、コロナ禍で実施不可能となり、あきらめざるをえなかったため、「ポスターと小冊子を作る」ことに決まりました。



実際に作業に入ると、ポスターの図案のアイデアで悩んだり、絵の具の扱いが難しくて苦労しましたが、みんなと協力して作り上げる時間は楽しくてあっという間でした。



小冊子は、特に何を伝えるのかを相談することから始めました。大事なことやメッセージが伝わりやすいようにレイアウトを考えたり、小さい子も見やすいようにイラストを描いたりして工夫をしました。

◇年間のまとめ

私たちは、「人も動物も幸せに暮らせる立川市」になってほしいと思っています。

立川市のホームページの、動物保護に関するページの情報量を増やすなど、より市民が動物保護について知ることのできる取り組みや、将来立川に新たな動物保護施設を作って欲しいという意見も出ました。立川市にも施設を作ることで、多くの動物を保護できるようになり、市民の意識を高める事にもつながるのではないのでしょうか。

一人ひとりの意識が変われば、犬や猫、飼い主がよりよく暮らせる、良い立川市になると思います。

私たちが立川市への提案です。

動物の命の重みを知り、共に生きる幸せを感じるために、保護活動のことを良く知ってもらいきっかけとして、今回私たちが作った小冊子とポスターを活用してほしいと思います。より広く知ってもらうために、大人も子どもも見ることが出来る場所、例えば市役所や市内の図書館、学校などに置き、配布してほしいです。

動物の保護活動の重要性や、ペットを飼うときの義務と責任について理解できる機会はほとんどありません。軽い気持ちで飼ったがために捨てられてしまうことのないよう、理解してもらうために、情報を発信し、知ってもらうことが重要だと思います。そうすることで、人も動物も幸せに暮らせる立川市になると考えています。

以上のことから、次のことを立川市に提案します。

立川市への提案

○動物の保護活動に関するポスターの掲示と活用

○動物の保護活動に関する小冊子の設置と市内小中学校児童生徒への配布

以上

